

総合科学の基礎C
哲学思想の基礎

2018/5/25

民主主義と多数決③

マークシートの記入要領

10ケタの学生番号を記入

名前

今日の日付

哲学

No	名前										月		日																										
年	クラス	番号	D		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	U	V	W		
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

10ケタの学生番号を鉛筆でマーク

小テストなどに
使います。

ここに注意！

前回分の小テスト

問1

96%

- 日本の選挙では、なぜ候補者は自動車から自分の名前を連呼するのか。
- ① 有権者に自分の名前を覚えてもらうことが有効だから。
- ② 走行中の自動車で演説をしても、道端の有権者は全体を聞けないから。
- ③ 政治家としての資質が低いから。
- ④ 公職選挙法でそれしか認められていないから。

問2

94%

- 常識問題：日本の衆議院議員選挙は、どのような制度を取っているか。

① 小選挙区制

② 大選挙区制

③ 比例代表制

④ 小選挙区制＋比例代表制

⑤ 大選挙区＋比例代表制

問3

75%

- 共同体の意思とは例えばどのようなことか。
 - ① 共同体の構成員は、共同体の意思が気に入らないときには従わなくてよい自由がある。
 - ② 共同体は、指導者が自由に決定できるように権力を与える。
 - ③ 共同体の意思とは権力者の意思であるから、権力者は自由に法律を作ることができる。
 - ④ 共同体は、すべての人が生きていくために必要な支援をする。

問4

90%

- ルソーは、一般意思をどのようなものだと考えたか。
 - ① 多数の人の意思。
 - ② 理性的に考えた結果、すべての人が納得するはずと考えられたもの。
 - ③ 権力者の意思。
 - ④ だれでも思いつくことができるようなもの。

問5

92%

- ルソーは憲法についてどのように考えたか。
 - ① 共同体の指導者が率先して作るべきである。
 - ② 共同体の中で最も賢い人が作るべきである。
 - ③ 憲法を作った人が指導者となるべきである。
 - ④ 憲法は外国人が作った方がよい。

学生のコメント

あいまいな推定

- 「～だろう」「～ではないか」「～はずだ」など、あいまいな推定の表現は避ける。
 - 「思う」などと同様、理由や根拠を書かずにごまかす表現。
 - あいかわらず、「意見」「質問」として、質問のしつぱなしの人が多い。

憲法は外国人が作った方がよい

- 「私は、「憲法は外国人が作ったほうがいい」という考え方に疑問を持った。確かに、共同体のメンバーが自分たちにとって都合のいいように憲法を作る可能性は拭いきれない。しかし、だからといって、外国人がつくればうまくいくのだろうか。外国人の利害関心が含まれる可能性はないのか。やはり、憲法は時間がかかっても共同体のメンバーで話し合って作るべきだ。その際、意見をまとめる手段として多数決を用いたり、外国人に客観的な意見を求めたりして、誰もが納得のいく決定を下したほうが良い。最初から外国人に任せるのは間違っている」。

その2

- 「やはり自国の仕組みを作るのは自国民でなければならない。なぜなら、自国民が作った憲法でなければ、外国に従わされているという感覚に陥りがちであるからだ」。
 - どのようなやり方にもメリット、デメリットがあるので、それらを具体的に比較検討して、いちばんマシなやり方を取るしかない。それでうまくいかなかったら修正する。
 - 誰が原案を作るかよりも、内容がよいかどうか問題。
 - ルソーの言いたいことは、よい内容(基本的人権の保障が的確に示されている)にするための手段として、「その共同体に利害関係がなく、高い知恵のある人が、理性に従って原案を作ればよい」ということ。

「公職選挙法はおかしい」。

- 実際に条文を見てみましたか？
- まずは具体的にどのような問題があるのかを特定する。
- どのようなやり方にもメリット、デメリットがあるので、それらを具体的に比較検討して、いちばんマシなやり方を取るしかない。
- 公職選挙法の場合、「不当な手段で選挙が行われないうように」という目的のために、細かい規定がある。それと、「国民が候補者の資質を比較検討して的確に判断できるようにする」という目的とのバランスをどうとるか、という観点でどうするのが「マシ」かを判断する。

これまでの残り

ここまでのまとめ：民主主義とは、

- 共同体のメンバーの人権を保障するための制度である。
- 民主主義のルールは、多数決でなく、人権保障という理念に合致しているかどうかである。
 - 民主的なルールは「道徳法則」でもある。
- どういうルールがその理念に合致しているかどうかを判断することは難しい。
 - 判断するためには、「正しく考える技術」を身につけることが必要。

問題点：誰が理性的か

- 人権保障という理念ではみな一致するにせよ、具体的にどのようなルールを決めればよいのか？
- ルソー：「各人が十分な情報を与えられたうえで、誰とも相談することなく自分一人で熟考 (délibérer) して出した結論を、投票によって表明すればよい」。
 - 事前に相談すれば、徒党を組んで自分たちの利益を押し通そうとする＝多数派の専制

一人で考えることと多数で考えること

- フランス語では(英語でも)両方、deliberation。
- 理性が共有されているから、「十分な情報が与えられれば」、一人で考えても多数で考えても結論は同じになるはず。
 - 一人で収集できる情報で十分なのか？
 - 価値判断抜き「客観的情報」があるのか？
 - 各人が潜在的には理性を持っているとしても、現実的に行使できるほど理性が開花しているか？
- 一人で考えるのと、多数で考えるのは、やはり違うのではないか？

理性は対話の中で育つ

- 十分な情報を得ること、その情報から妥当な価値判断をすること、別な立場や見方からの情報を得ることによって理性(思考力)は育つ。
 - 近代哲学における理性(Reason)＝理由をつけて推論する力。計算能力。
 - アリストテレス以来の「知性Intellect」: 何を推論するべきかを判断する能力を含む。
 - 近代哲学における「知性と理性の逆転」

感情尊重社会

- 理性や論理より、感情や信念を尊重する社会。
 - 感情を表に出すこと、これまでは口に出すのをはばかりべきと考えられてきたようなことを口に出すことが、「本音をはっきり言う」などと好評価される。
- 感情は眼前の状況に対する反射的反応。
 - 複数の立場を知ってしまったら、怒りようがない。
- 信念には客観的な根拠がない。
 - 信念に従って行動しても、問題の解決につながらない。

対話を阻む「人それぞれ」論

- 「人それぞれ」: 一見すると相手を尊重するよい言葉であると思わせかけて、その実、相手の話をよく聞かずに切り捨てる言葉。
- みんなが「人それぞれ」などと言っていると、力のある者は粛々と自分に都合の良いことを進める。
 - 「人それぞれ」では連帯が阻まれるので、対抗しようがない。

大学は何のために存在するのか

- 「民主主義とは、すべての国民が賢くあらねばならないという無茶苦茶を要求する制度です。その無茶苦茶を実現するために大学というものは存在しています。企業に有為な人材を育成するためではない」。
 - 『コピペと言われないレポートの書き方教室』あとがき
- 「会社」でなく、「社会」に役立つ大学の機能とは、**民主的な市民社会を維持し機能させること。**
 - 根拠を示しつつ意見を主張する技術を教育。
 - これは「道徳教育」でもある。

今日の小テスト

問1

- これまでの授業を踏まえて、民主主義について正しいのは。
 - ① 民主主義の本質は多数決である。
 - ② 民主主義の理念はメンバーの人権保障である。
 - ③ 民主主義のルールは議会の多数派が決めるのが理想である。
 - ④ 人権保障という理念に照らせば、どういうルールが正しいかはだれの目にも明らかである。

問2

- ルソーは、どのようにすれば投票によって理性的な結果が出ると考えたか。
 - ① 各人が誰とも相談せずに自分で考えて投票する。
 - ② 各人がお互いに十分に相談して投票する。
 - ③ 各人が自分の常識的感覚を基準にして投票する。
 - ④ 有識者の一票に重みを付ける。

問3

- フランス語や英語で、「自分でよく考える」と「人と十分議論する」という意味を表す語は何か。

- ① Liberation
- ② Deliberation
- ③ Discussion
- ④ Dialectic

問4

- 山口は、理性(本来は「知性」)はどのようなものだと考えているか。
 - ① 生得的に万人が持っている。
 - ② 基本的な部分は生得的であるにせよ、他者との交流の中で育つ。
 - ③ 情報処理機能なので、情報を得ることで変化することはない。
 - ④ 人それぞれに違う理性を持っている。

問5

- 山口は、「感情」についてどのように評価しているか。
 - ① 感情は人間の生活を豊かに彩る。
 - ② 感情は問題の解決に役立つ。
 - ③ 感情は合理的判断の根拠になる。
 - ④ 感情は眼前の状況に対する反射的反応である。

今日の宿題

- 「授業コメントとそれへの応答」を読んで解く小テスト。Manabaで実施。
 - 締め切りは5月29日(火)17時。